

Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌 エピストウラ

EPISTULA: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。
広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。



表紙 / 音楽科 (特集 P1~2)

特集

音楽科

第60回定期演奏会に向けて



Epistula

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE
Public Relations Magazine

Vol. 76
2024

大分県立芸術文化短期大学広報誌「EPISTULA」2024年9月2日発行 通巻76号
大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 TEL0975-4550542 代表 FAX0975-4550543

OITA PREFECTURAL COLLEGE
OF ARTS AND CULTURE

EVENT CALENDAR

2024年 9月 ▶ 12月

9月 3日(火) ~ 9日(日)	交差展~Product Design Exhibition 17~
8日(日)	ポップカルチャー×情報教育2024
17日(火)	後期授業開始
20日(金)	音楽科コンサートシリーズ No.123
24日(火)	若さあふれるコンサート~前期実技試験成績優秀者による~
10月 13日(日)	講演会 京都府・太秦にある映画村での仕事と「出会い」 <アートマネジメントプログラム>
14日(月・祝)	シーグラス・ワークショップ
26日(土)	第60回音楽科定期演奏会
26日(土) ~ 27日(日)	芸短デザインスクール2024
11月 9日(土) ~ 10日(日) 予定	芸短祭
13日(水)	大分の豊かな自然を学ぶ参加型ワークショップ
14日(木)	音楽科コンサートシリーズ No.124
23日(土・祝)	ピアノコース演奏会~ピアノ音楽への誘い~
24日(日)	大分国際車いすマラソン第14回交流イベント <アートマネジメントプログラム>
30日(土) ~ 12月1日(日)	こどものための音楽会 小林道夫 愛甲久美 ドイツ歌曲演奏会 <アートマネジメントプログラム>
12月 4日(水) ~ 10日(火)	子ども向けワークショップ <アートマネジメントプログラム>
6日(金)	寒くならないホラー展
21日(土)	音楽科コンサートシリーズ No.125
24日(火)	管弦打コース演奏会~師走に心温まるひとときを~ オペラサークル Opera Piena di Vita 第34回公演 ヨハン・シュトラウス作曲 オペレッタ《こうもり》 冬期休業開始

※各イベントは変更になる場合があります



芸文短大 検索 <https://www.oita-pjc.ac.jp>

大分県立
芸術文化
短期大学



Facebook



Instagram



X(旧 Twitter)



YouTube

芸短
美術科



Facebook



Instagram



X(旧 Twitter)

芸短
国際総合



Facebook



Instagram



X(旧 Twitter)

芸短
音楽科



Facebook



Instagram



X(旧 Twitter)

芸短
情コミュ



Facebook



Instagram



X(旧 Twitter)

大分県立芸術文化短期大学の公式 SNSでは、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、学科や研究室のほか、サークル、イベント等でも SNSを立ち上げています。

音楽科最大のイベント 第60回定期演奏会に向けて

今年も音楽科最大のイベント「第60回定期演奏会」を10月14日(月・祝)に iichiko総合文化センターグランシアタにて開催します。演奏はもちろん、当日のスタッフなど音楽科在学生・卒業生・教職員が一丸となって作り上げていく演奏会です。

定期演奏会をけん引する学生に、演奏する曲の魅力や定期演奏会へ向けた意気込みを伺いました。

1 A・ブルックナー作曲「デ・デウム WAB 45」

独唱 専攻科2年…有野美咲さん
専攻科1年…辻沙弥佳さん、時任日向子さん
音楽科2年…前田光稀さん、牧島立樹さん
音楽科1年…中野光琉さん、松下誠治さん

Q どんな曲ですか？

A 前ブルックナーが1884年に作曲した曲で、交響曲七番とともに彼の作曲家としての地位を確立した曲でもあります。また、ロマン派宗教音楽の最高傑作と言われており、オルガン奏者であるブルックナーらしいオーケストレーションが魅力です。

牧 とても複雑な和音がたくさん出てくる難しい曲だと思います。ですが、とても美しい和音で聴いていて癒されます。また同じ歌詞やメロディーが何度も出てくるのも特徴の一つだと思います。

Q この曲の好きなところはどこですか？

A 中 この曲はユニゾンが多く、全パートが心を一つにして歌うユニゾンは、歌っていても心が震え上がります。曲の最後は演奏者全員を総結集させたような迫力があり、演奏が終わった後の達成感や、音楽をできることの喜びを感じられるところが好きです。

有 合唱と金管楽器が主題を力強く荘厳に歌い始める場面が何度かあるのですが、迫力があってとても好きです。また、第5曲目は独唱者の重唱で始まり、美しい和声で綺麗だなと感じながら歌っています。

2 R ヴォーン・ウィリアムズ作曲「テューバ協奏曲」

テューバ独奏 専攻科2年…石内克彌さん

Q どんな曲ですか？

A 石 この曲は、1954年にヴォーン・ウィリアムズが作曲した作品で、テューバのための協奏曲としては、初めて作曲されたもので



す。現在でもテューバの重要なレパートリーの一つとなっています。

Q この曲の好きなところはどこですか？

A 石 特に好きなところは第2楽章「Romanza」です！とても美しい楽章で、テューバという楽器のイメージからは想像できないものとなっており、テューバの素晴らしい音がよく伝わると思います。

3 S・ラフマニノフ作曲「パガニーニの主題による狂詩曲作品43」

ピアノ独奏 専攻科2年…永吉花菜さん

Q どんな曲ですか？

A 永 ロシア出身のセルゲイ・ラフマニノフが1934年に作曲しました。この作品は、ニコロ・パガニーニが作曲した独奏ヴァイオリンのための「24のカプリース(奇想曲)」の第24番を元にした24の変奏からなります。

Q この曲の好きなところはどこですか？

A 永 全体的にスピード感があり、力強さを感じる作風ですが、時折抒情的な部分が現れるその緩急差が好きです。その中でも特に第18変奏のドラマティックさは、何度聴いても心に訴えかけてくるものがあるように感じます。

4 M・ラヴェル作曲 組曲「マ・メール・ロフ」

インスペクター 専攻科2年…内山ひよりさん、小林萌々葉さん

Q どんな曲ですか？

A 小 フランスの作曲家モーリス・ラヴェルによって作曲された組曲です。全4曲からなり、全ての曲が童話をモチーフに作られています。



Q この曲の好きなところはどこですか？

A 内 「パゴダの女王レドロネット」という曲は、冒頭の細かく可愛らしいメロディと中間部の落ち着いたメロディの対比が面白い曲です。パゴダとは中国製の陶器でできた首振り人形のことを指し、中国を感じる曲調が特徴です。

5 O・レスピーギ作曲 交響詩「ローマの松」

広報担当 専攻科2年…浅野実彩さん、古城温香さん

Q どんな曲ですか？

A 浅 4つの楽章で構成されており、それぞれイタリア・ローマの街並みや風景を、象徴となる樹木「松」と共に表しています。

Q この曲の好きなところはどこですか？

A 古 第1楽章のにぎやかな様子や重厚感のある第2楽章、感動的なフィナーレと、どの場面も惹き込まれる作品です。各楽器の見せ所の多い曲ですが、特に美しいクラリネットのソロや、コーラルングレの哀愁漂う旋律も魅力です。

6 担当している楽器やコースの魅力を教えてください

A 浅 私が専攻しているオーボエは、吹き口にあるリードを手作りすることが多く、自分の好きな音色を作れるため一人一人全く音色が違ってくるのが魅力だと思います。

辻 自身が楽器であることが、音楽の魅力の1つです。その時の気分や体調、その人の考え方やその曲に対する想いがストリートに音楽に現れていて、演奏する上で難しい部分ではあります。

い部分ではありますが、とても面白い部分でもあると感じます。

ストリートに表現されるからこそ、聴き手に届けたい想いを音楽に乗せやすく、歌い手の心も聴き手の心も動かすことができる楽器であると思います。

永 私にとってピアノの魅力は、1つの楽器で想像もつかないほど多彩な音色を表現できることだと思います。

個人レッスンを通して1つの作品から多くの種類の音色を出すための奏法や体の使い方のアプローチの仕方等深く学ぶことができることができます。友人や先輩、後輩から日々刺激を受けながら自己の成長を目指して練習に励むことができます。

松 今回の定期演奏会では、「デ・デウム」のソリスト、管弦楽曲の「ローマの松」、「マ・メール・ロフ」のコントラバス演奏で出演致します。私は本来ピアノコースに在籍していますが、これとは別に声楽とコントラバスも勉強しています。

専攻分野に留まらず、自分が挑戦してみたいことにためらいなく挑める環境が備わっていることが、コース、更には音楽科全体の最大の魅力です。

7 定期演奏会に向けた意気込みをお願いします！

A 時 今回の演奏会は第60回という区切りの良い記念すべき演奏会です。演奏会の成功に向け学生全員が心を一つに練習に取り組んでいます。

改装された iichiko グランシアタで2年ぶりに大分での演奏会となります。大分の皆さま、また、県外から聴きにきてくださる皆さま、お世話になっている先生方やたくさんの方々、音楽をできる喜びや感謝の気持ちで伝わるよう、心を込めて演奏したいと思っています。

第60回定期演奏会情報

日時 10月14日(月・祝)
時間 13:15 開場 / 14:00 開演
会場 iichiko 総合文化センター
iichiko グランシアタ
(大分市高砂町 2-33)

お問い合わせ 音楽科副手室
☎097-545-8758





情報コミュニケーション学科の学生が「ポートフォリオ発表会」を行いました

7月22日(月)、情報コミュニケーション学科の1年生が、必修科目「基礎ゼミ」の講義で「ポートフォリオ発表会」を行いました。

これは、進路を視野に入れた自己PR力の向上を目指して、学生が自分のこれまでの活動や自分の長所、現在努力していることなどを発表するものです。

学生たちは、各自で自己PRのための資料を作成し、グループ内で発表と質疑応答を行いました。

発表では、部活動やサービシングなど、自分がこれまで経験してきたことで、成長できた点や習得した力をわかりやすく説明していました。質疑応答では、お互いの発表に関心を持って、積極的に発言を行っていました。

情報コミュニケーション学科では、進路活動に向けて、今後も同様の発表会に取り組む予定です。

日本テレビの現役気象予報士の「出前授業」が行われました

5月31日(金)、共通教育科目「時事ニュース研究」では、日本テレビで活躍する気象予報士・藤森涼子さんが「天気予報の変遷」をテーマに授業を行いました。約100名の学生が受講しました。

従来、天気予報といえば、テレビやラジオをチェックするというのが多数派でした。しかし、今は、個人がスマホやタブレットなどを利用して、「いつでも欲しい情報」を手にする時代です。

地球温暖化に伴い天気の急変などが頻発する現代、「当たってあたりまえの天気予報」。「当たっても誰もほめてはくれないけれど、外れたときのことを考えるだけでいつもプレッシャーだ」とお話ししていました。それでも天気予報を通して自分を表現することができ、とても刺激的でやりがいのある仕事であると熱意を込めて話していました。

藤森さん、ありがとうございました。



GEITAN NEWS vol.76

Latest topics at Oita Prefectural College of Arts and Culture

「日本製鉄株式会社 × 大分県立芸術文化短期大学」交流事業活動 2024 を実施しました



専攻科造形専攻ビジュアルデザインコースとメディアデザイン映像ゼミの学生10名が、日本製鉄株式会社九州製鉄所大分地区との連携プログラムとして、デザインの企画制作に取り組みました。

4月から学生たちは、製鉄所の見学や、社員の方々のヒアリングを行い、地域の企業にどのような課題があるのかを探りました。そして、見つけた課題をデザインの力でどのように解決していくのか、サンプルの制作等を行いながら約4か月かけて試行錯誤を繰り返しました。

7月29日には学内において成果発表会を開催し、学生たちは一人ひとりプレゼンテーションと制作物の展示を行いました。製鉄業の仕事内容や、環境配慮への取り組みを伝えるための、多彩な視点が光るデザインが発表されました。

8月9日には九州製鉄所大分地区において完成披露目会が行われ、多くの社員の方々に制作物を見ていただき、学生たち一人ひとりに感謝状が授与されました。

「学生選書ツアー」が開催されました



本学附属図書館では、図書館に蔵書する本が学生が選ぶ「学生選書ツアー」を年2回開催しています。今回、公募により選ばれた8名の学生がツアーに参加しました。

学生たちは、6月22日(土) 紀伊國屋書店アミューズおおいだ店にて、約2時間をかけて、検索機などを活用したり、学生同士で情報交換をしたりしながら、たくさんの人に読んでもらいたいと思う本を中心に選びました。

その後、7月3日(水)には、参加学生と館長、図書館職員が集まり、学内で意見交換会を行いました。それぞれが選書の理由や、その本に触れるようになったきっかけなど、本に対する想いを熱心に語り合う会となりました。

ツアーで選ばれた本は、図書館の入り口すぐのコーナーに配架しています。ぜひ借りてみてください。学外の方も利用手続きが可能です。

音楽科管弦打コースによる「サマーコンサート」を開催しました



7月2日(火)、本学音楽ホールにて学内限定の「サマーコンサート」を開催しました。清水万敬特任教授、高田喜夫准教授の指揮のもと、音楽科管弦打コースの学生が出演しました。演奏曲の解説を挟みながら、吹奏楽の人気曲や、ミュージカル映画の曲などが披露され、来場者は楽曲の世界観を楽しみました。

竹田キャンパス

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です。



先日の夜、一服しながら星を眺めていると目の前の草むらから「ガサガサ」と、物音が。ひょっこり顔を出したのは穴熊でした。そのままこちらに気が付かず私の足元まで近づいてきて、目が合った瞬間、あわてて体育館の下へと逃げていきました。

たまに目撃するのですが、いつものそのそとマイペースに動いております。ただ、あんなに注意散漫で野生で生きいけるのかと心配になる穴熊ちゃんです。

非常勤講師 大学 OB 前田亮二

学内ギャラリー作品介绍 On-campus Gallery

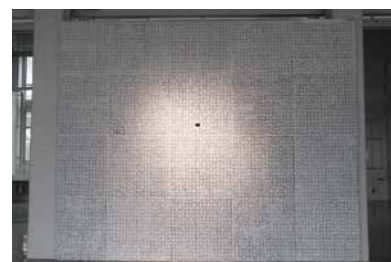
「intro」
5月21日～5月31日
専攻科
造形専攻2年
たかし



「融解」
6月10日～6月14日
美術科 音楽科
3名



「公開制作」「共存」
6月1日～6月7日 6月15日～6月26日
美術科美術専攻2年
國仲梨央



「期待の大型新人展」
6月30日～7月4日
美術科デザイン専攻1年
17名



「中村羽秋展」
7月7日～7月13日
美術科美術専攻2年
中村羽秋



学長
コラム
「生きる喜び」



似顔絵：学長秘書高野桐子

海外アーティスト招聘の歴史

財務省時代にひよんなことから海外アーティスト招聘の歴史を勉強することになりました。来日するアーティストの招聘会社が税法上公演の見積もり売上の相当額を税務署に源泉所得税として供託することが必要とされていた。なぜそのような制度ができたかといいますが、戦後の興業の多くは、〇〇音楽事務所という米軍基地を訪問する米国のアーティストの世話をするところから始まったのですが、事務所の中には講演後に税金を払わずに姿を消すものがあったので、そのようなことを防ぐためでした。

この金額がそう大きくない間はよかったのですが、マイケル ジャクソンやニューヨークのコスモポリタンオペラのような多額の出演料を伴う公演の際については多額の供託金が必要になり、銀行から借入れをしようとしても招聘元の事務所は担保とできる資産も少ないことから、借入金で賄うことができない事態が生じました。そこで、事務所の住所がはっきりしており、事務所の構成や経験などの一定の条件を満たす事務所については、供託金の割合を引き下げることにしました。即ち、「姿を消す」恐れが低いものについては要求水準を下げることにしたわけです。

service
learning
report

サービスラーニング情報

西大分地域の
清掃活動と
まち散策を
行いました



6月1日(土)に、西大分地区の清掃活動とまち散策を行い、20名の学生が参加しました。
活動では、西大分地域一帯の清掃活動を行いました。また、春日神社、神宮寺浦公園、かんたん港園、王子神社などを回りながら、それぞれの歴史と観光資源について学びました。
参加した学生からは、「大分市出身だけれども知らないことがたくさんあり勉強になった」、「海にゴミが多くて大きな問題だと思った」、「西大分の今後の開発が楽しみだ」などの感想が寄せられました。

フードマルシェを
通じた外国人留学生の
支援を行いました



6月29日(土)に、J:COMホールにおいて、大分県社会福祉協議会および大学コンソーシアムおおいたが主催する「フードマルシェ」が開催され、15名の学生が参加しました。
「フードバンクおおいた」では、賞味期限の近い食材などを県内各地から集め、これらを生活に困窮する家庭や大学生などに提供する活動を行っています。今回は大分県内の留学生を対象に食材を提供する活動を支援し、かつ留学生との交流を図ることを目的として参加しました。
参加した学生達は相談しあいながら役割分担を決め、食材等の運搬、陳列、会場設営などを行い、約100名の留学生らに、食品や雑貨などを提供しました。
参加した学生からは「なかなか大学では留学生と交流ができないので良い機会になった」、「英語で意思疎通ができて楽しかった」などの感想が寄せられました。

生成AIを用いた
社会問題解決ワーク
ショップを開催しました



7月6日(土)に、本学において、「生成AIを活用した社会問題を解決するためのワークショップ」を開催しました。このワークショップは、本学の学生以外にも県内の大学生、専門学校生を含め計35名が参加しました。
午前中は、各自が生成AIを用いた短編小説、イラストやテーマ曲を作成し、スライドにまとめて発表を行いました。
午後からは、チャットGPTを使って社会的課題を解決するためのアイデアソンを行いました。大分県に存在する各種課題を、チャットGPTを活用しながら洗い出し、これを解決するための方法を検討し、全体発表を行いました。今回の活動を通じて、生成AIの特徴と可能性を理解する貴重な機会となるとともに、大分県内の大学や専門学校、学生と交流を深める良い機会になりました。



10月26日(土)、27日(日)に芸短祭を行います! お笑い芸人さんをお呼びしてのステージやサークル等のステージ発表、屋台や雑貨などの出店に加えて新しい企画も準備しております! 学友会一同、皆様のご参加をお待ちしております! また学友会の各種 SNSもご覧ください! Tiktokでは、学内イベントの様子や裏側などを投稿中です!! 学友会一同、芸短祭に向けて全力で頑張っています!!



(写真は卒業パーティーの様子です)

日々是精進

- 美術科 ○海のSDGs映画祭2024
象印賞(優秀賞) 柳谷 拳人(2年 デザイン専攻)
- 音楽科 ○ヴェルデ音楽コンクール ピアノ部門 一般の部
予選 銀賞 永吉 亜子(2年 ピアノコース)
予選 銅賞 橋本 侑果(1年 ピアノコース)
- 専攻科 ○第43回飯塚新人音楽コンクール ピアノ部門
入選 岡 友萌音(1年 ピアノコース)
- 情報工学科 ○令和6年度学習デジタル教材コンクール
学情研賞 野田研究室
- 九州管区警察局 令和6年度九州ブロック防犯ボランティアフォーラム
感謝状 めじろんおおいた見守り隊(野田研究室)
- 共通 ○2023年度マナー・プロトコール検定3級
優秀校 本学